

～ひとに心 まちに風～
いきいき生活・しあわせ実感都市 はむら



はむらの 教育



平成20年度に向けて

教育長 角野征大

「教育の世界は、憧れの世界である。」

言葉をかえれば、郷愁の世界である。」

富士見霊園に眠る「黙柳 佐々

蔚先生」の墓標にお参りする度に、

羽村の教育の原点がどこに拠って

たってきたのか深く思いを起こさ

せるのであります。佐々蔚先生ほ

ど、羽村において先人から語り継

がれた人は少ないでしょう。まさ

に、誠心誠意、全身全霊をもって

羽村の教育に尽くされました。先

生のおかげで羽村がひらけた、と

言われるように、先生の教えは今

なお盛んに羽村の人に受け継がれ

ていると言えらると思います。教育

の大いなる力を私たちに感じさせ

る先生の生涯であります。

「教育とは、流水に文字を書くよ

うな果てない業である。だがそれ

を、厳壁に刻むような真剣さでと

り組まねばならぬ。」という言葉

があります。昨今の羽村の教育界

の状況を省みるまでもなく、教育

委員会として肅然たる思いにいた

らざるを得ません。

平成20年度のスタートにあたり、

「念ずれば花ひらく」という詩の

精神を胸に刻み、新しい決意を、

祈りを、熱き志を基本として、羽

村の子供たちの輝かしい未来を願

って、計画された施策の推進につ

とめてまいります。

No.12

平成 20 年度 教育委員会主要事務事業

学びあい豊かな心を育むまち ～教育・生涯学習の施策～

幼児教育

- ☆ 家庭教育セミナーの開催 210 千円

学校教育

- 学校図書館教育の充実 3,352 千円
- 学校図書館用図書の実績 5,855 千円
- ◎ 特別支援教育支援員の配置 6,107 千円
- ◎ 羽村第三中学校防音機能復旧（機器取替）事業 224,138 千円
- 教育広報の充実 2,429 千円
- ☆ 特色ある学校づくり交付金の交付 10,000 千円
- ☆ 教育相談・学校適応指導教室の運営 25,124 千円
- ☆ 小中一貫教育校基本計画の検討 454 千円

青少年

- ◎ 稲作体験用農地購入 31,621 千円
- 「青少年健全育成の日」の充実 1,782 千円
- 洋上セミナーの充実 2,690 千円
- ☆ 少年少女球技大会の実施 613 千円
- ☆ 子ども体験セミナー等の実施 555 千円

生涯学習

- ◎ 生涯学習基本計画の策定 864 千円
- ◎ 「水はむら」写真コンクールの開催 232 千円
- 芸術鑑賞事業の実施 18,865 千円
- ゆとろぎ市民協働組織への助成 18,787 千円
- 子育て支援図書等の充実 300 千円

スポーツ・歴史文化

- スポーツリーダーバンクの創設 150 千円
- ☆ 文化遺産の保存・修理 4,086 千円
- ◎ ボランティアの参加による里山づくり 80 千円

◎：新規事業 ○：レベルアップ事業 ☆：重点施策推進事業

小・中学校一貫教育校
検討委員会から中間報
告書が提出されました

羽村市では、平成十八年度から小・中学校一貫教育校の開設について委員会を立ち上げ、検討を重ねてきました。その中間報告が、三月十一日に教育長に提出されました。その内容の一部をご紹介します。

開設の意義

小・中学校一貫教育校は、現在の小学校六年間と中学校三年間という区切りをなくすることで、義務教育九年間を通して意図的・計画的・継続的な指導ができます。その結果、次のような成果が期待できます。

①児童・生徒の個性や能力

が一層伸長できる。

②学校が創意工夫を生かした教育活動ができる。

③児童・生徒の豊かな人間性や社会性が育成できる。

④児童・生徒の学力の向上を図ることができる。

⑤児童・生徒の生活指導上の課題に迅速に対応できる。

⑥中学校一年生の入学に対する不安を解消できる。

⑦学校と地域との一層の連携を図ることができる。

以上の成果が期待できるところから、小・中学校一貫教育校の開設について、次のことが報告されました。

開設の予定

小・中学校一貫教育校は、平成二十二年四月に武蔵野小学校と羽村第三中学校をモデル校として、「(仮称)羽村学園」を設置し、その後、モデ

ル校の成果を検証して、羽村市全体の小・中学校一貫教育校を考えていくことが望ましい。

「(仮称)羽村学園」の通学区域については、現在の武蔵野小学校を通学区域とし、現在、富士見小学校と松林小学校の学区の一部が羽村第三中学校の学区となっていることから、これらの区域の児童・生徒は、当分の間、小・中学校一貫教育校に入学できるようにすることが望ましい。また、希望がある場合は、定数を設けて市内全域からも通学することを可能にすることが望ましいと報告されました。

「(仮称)羽村学園」の特色

小・中学校一貫教育校では、英語活動・英語科の系統的な指導、羽村について学ぶ「(仮称)羽村学」、人間としての生き方を学ぶ「(仮称)人間学」、そして、保護者のため

の「(仮称)親学」のカリキュラムが必要であることが報告されました。

その他、学年区分、指導内容、指導体制、特別支援学級の設置、部活動など、現在の小・中学校とは違う、「羽村らしい特色ある小・中学校一貫教育校」にしていく必要があることも報告されました。

詳細は、羽村市ホームページに報告書を掲載しますので、ご覧ください。

<http://www.city.hamura.tokyo.jp/>

tokyo.jp/

今後の予定

今後は、小・中学校一貫教育校開設の方針や具体的な計画を策定し、保護者や市民の皆様にもお伝えしていきます。説明会等の具体的日程が決まりましたら、お知らせいたします。

●問合せ 指導室

生涯学習基本計画策定に向けて動きはじめます

羽村市の「生涯学習」をいかに進めていくべきか、そのための考え方や具体的な施策を示す「生涯学習基本計画」。昨今の生涯学習をめぐる

大きな社会変化を考慮しながら、今年度、新たな計画を策定します。

5月からは、生涯学習基本計画審議会が始まります。審議会委員は、

公募委員をはじめ、生涯学習に深い関わりを持つ分野の専門家、経験者など15人で構成されます。

第3次羽村市生涯学習推進基本計画

◆基本的な考え方

—自立と連携を育む生涯学習社会の構築—
生涯を通じて、学びあい、豊かな人間性と郷土愛に満ちた市民として成長するための生涯学習を目指して

◆施策の目標

- ① 子どもの時から始まる学び ～生涯学習の基礎づくり～
- ② いつでも、どこでも、いつまでもできる学び
～生涯学習の場と機会の提供～
- ③ 学びをひろげ生かす
～生涯学習活動を活発にし成果を生かす～
- ④ 学びの情報を伝える ～生涯学習の情報収集と提供～
- ⑤ 学ぶ体制を整える ～生涯学習の推進体制～

- ① 羽村市生涯学習施設の完成
- ② 羽村市文化協会の設立
- ③ 教育基本法の改正
- ④ 第4次長期総合計画
後期基本計画の策定
- ⑤ 市としての個別計画の策定
など

発展

市を取り巻く
状況の変化

羽村市生涯学習基本計画

第4次羽村市長期総合計画の将来像の実現

図書館よりお知らせ

長期延滞者に対する利用制限を開始します

平成20年4月より、資料を長期延滞している利用者に対し、利用制限を行うこととなりました。ルールをきちんと守って利用していただいている利用者の方々の不平等・不利益を正すことが目的です。長期延滞により、本来は多くの方々にご利用いただけたはずの資料がたくさんあります。

また、都立図書館などの図書館から借用して提供させていただいている資料は、利用後、早めにご返却ください。

●対象 3ヶ月間以上延滞している方

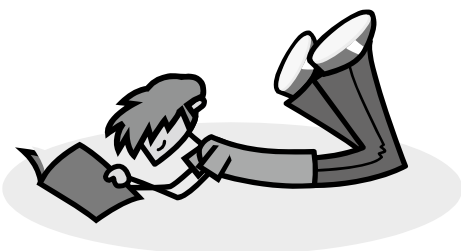
●制限内容 ・貸出停止
・予約停止

●制限解除 延滞している

資料を全て返却した時点※段階的に延滞期間の短縮を検討していきます。また、長期延滞が減らない場合は、インターネット

およびCD・ROM検索、CD・ビデオおよびDVDブースの利用制限も検討します。

●問合せ 図書館



プログラム

No	種 目	場 所
1	アクア&スイム	スイミングセンター
2	ベビーマッサージ&ママビクス (親と乳児)	スポーツセンター
3	インディアカ	スポーツセンター
4	青梅マラソンを走ってみよう!	富士見公園
5	子どものスポーツ天国	羽村東小学校
6	しはんま ^と 四半的 (ミニ弓道)	スポーツセンター
7	書道教室	スポーツセンター
8	ソフトテニス	富士見公園ほか
9	ボウリング大会	西東京レーン
10	卓球	スポーツセンター
11	脱メタボ・体脂肪カット	五ノ神会館 (予定)
12	夏休みちびっこキャンプ	堰下レクリエーション広場
13	はつらつ体操 (50歳以上)	スポーツセンター
14	バドミントン	スポーツセンター
15	バランスボール	都立羽村養護学校 (予定)
16	パワーヨーガ	スポーツセンター
17	みんなで遊ぼう (ホップ・ステップ・ジャンプ)	スポーツセンター
18	レッツエンジョイエアロ(60歳以上)	都立羽村養護学校 (予定)

※プログラムは、5月中旬から開始します。

会 費

①	一般会員 (小学生以上1人当り)	月額 500円
②	ファミリー会員 (3人以上の同居の家族 1家族当り)	月額 1,000円
③	ゴールド会員 (1人当り)	年額 20,000円

※会員の期間は、1年間(4月~翌年3月)です。

※会費は、入会の翌月から、翌年3月分までを全納していただきます。

※別途、プログラム参加費が必要です。

(種目によって、金額が異なります。また、プログラム参加費無料の種目も検討中です)

※ゴールド会員は、原則として、参加費は不要です。

◎詳細は、会員受付時にお知らせします。

はむら総合型スポーツクラブ
はむら
会員の募集が始まります

西多摩地区初の市民による「総合型スポーツクラブ」は、4月15日(火)から始まります。

プログラムは表のとおり。お子様から高齢者の方まで、どなたでも参加できるプログラムを揃えております。皆さまの申込みをお待ちしております。

●問合せ
◆はむら連絡事務所(スポーツセンター内)
火曜日の午後1時から4時まで
と、木曜日の午前9時30分から午後1時まで、事務局にスタッフがいいます。

TEL 042-519-5712
FAX 042-519-5713
e-mail:hamura-s.c@royalocn.ne.jp
◆体育課(スポーツセンター)

「市内の文化財（羽村市指定文化財4）」

この連載も最終回となりました。今回は羽村市指定の記念物について紹介します。記念物は羽村市文化財保護条例では史跡、旧跡、名勝、天然記念物に分けられています。

羽村市指定史跡は、「吉祥寺跡」、「天明義挙記念碑」、「伝三田雅楽之助平将定等の墓」が指定されています。「吉祥寺跡」は、阿蘇神社の隣接地に江戸時代まであったお寺の跡で、戦国時代には後北条氏の祈願寺として栄えたといわれています。現在は僅かに墓地が残るのみです。「天明義挙記念碑」は禅林寺の境内にあります。江戸時代の天明の大飢饉による一揆を「義挙」と称えた西多摩村有志によって、明治24年に建立されました。「伝三田雅楽之助平将定等の墓」は、いこいの里隣の静かな林の中にあります。室町時代の頃、この地方を領有した三田氏の一族で、一峰院の開いた三田雅楽之助将定の廟所と伝えられている五輪塔などの石造物が建っています。

羽村市指定旧跡は、「玉川上水羽村陣屋跡」が指定されています。現在は都水道局羽村取水所の建物が建つ一帯が、玉川上水の管理のための江戸幕府の陣屋があった場所です。

史跡と旧跡の違いは、歴史的な遺構が残されているかどうかであり、文化財の価値の優劣ではありません。

なお、羽村市指定の名勝と天然記念物については指定物件がありません。

これで、6回にわたって連載してきた市内の文化財紹介は終了です。短いコラムですので、その魅力のすべてを伝えることができませんでした。これからも折に触れて羽村市の歴史と文化を伝える文化財を紹介していきますが、下記の書籍も参考にいただければ幸いです。最後までお付き合いいただきありがとうございました。

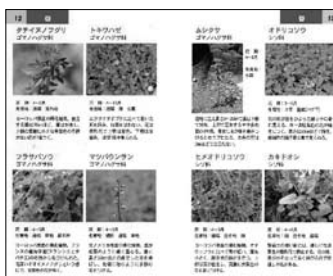
○『はむら文化財ガイド』（郷土博物館・市役所受付で頒布中。一冊 600 円）

～ 「自然ガイドブック」 が完成しました ～

平成17年度から3年をかけて、市民ボランティアによる市内動植物所在確認調査を実施してきましたが、このたび、その調査結果をガイドブックとして刊行しました。写真撮影やガイドブック編集まで市民ボランティアの方々の作業による力作です。

郷土博物館と市役所受付において4月10日より販売します。

春の陽気に誘われて、市内の自然観察に出かけてみませんか。



『新版はむらの植物ガイド』 700 円



『新版はむらの野鳥ガイド』 700 円



『はむらの昆虫ガイド』 700 円

羽村市教育委員会表彰

さる、3月14日に羽村市生涯学習センターゆとろぎにて平成19年度羽村市教育委員会表彰式が行われ、以下の皆さまが受賞されました。(敬称略)

児童生徒表彰

(小学生)

高橋 勲有	廣川 知会
井上 菜摘	居倉 龍
矢島 実知	井上小夜子
小川 舞子	寺嶋 紗優
入山 奈央	寺嶋 志優
入山 功大	島崎 怜菜
熱田 仁志	下地 莉瑚
下地 琢斗	三上 大輝
相川 達	細谷 一央

武蔵野小学校吹奏楽団

(中学生)

浅野 愛佳	須田 将平
林 優	土方 翔太
高木 明日香	近藤 海斗
野中 千尋	関根 凌也

茂木 ゆりか 今坂 衛
島崎 浩史郎
羽村第一中学校陸上部

(高校生・大学生)

田島 和斗	竹田 晋也
山岸 到	工藤 大和
難波 夏季	正親 昌也
石田 明日香	高橋 那依
正木 祐太郎	福田 咲希子
清野 花歩	福島 千裕
中村 大地	吉野 真未
中里 一行	森田 翔樹

教育功労者

茂木 勇樹	川上 剛史
鶴岡 協子	藤澤 穰
馬場 見良樹	荻島 初美
羽村シニアUクラブ・ハイシニア ヴォーチェアルジエンティーナ	

教員表彰

原 健 (羽村一中)
栄小学校教職員バレーボールチーム

● 問合せ 教育総務課

小・中学校の行事予定 4月～6月

詳しくは、各学校にお問合せください。

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●羽村東小学校
4月29日(火) PTA総会
5月31日(土)
運動会※雨天時:6月1日(日)
6月10日(火)～11日(水)
学校公開日 ●羽村西小学校
4月26日(土)
特別学校公開日・PTA総会・親子セーフティ教室
5月24日(土)
運動会※雨天時:25日(日)
6月15日(日) 特別学校公開日 ●富士見小学校
5月23日(金)～24日(土)
学校公開日
5月24日(土) PTA総会 ●栄小学校
5月2日(金) PTA総会
5月17日(土)
運動会※雨天時:18日(日)
5月26日(月)～30日(金)
学校公開週間 | <ul style="list-style-type: none"> 5月28日(水) なかよし班 花植え
6月8日(日)
農業体験活動「田植え」
※青少対の主催事業。日程等については変更の可能性有。 ●松林小学校
5月16日(金) PTA総会
5月31日(土)
運動会※雨天時:6月1日(日)
6月26日(木) 学校公開日 ●小作台小学校
5月9日(金) 授業参観・PTA総会
5月31日(土)
運動会※雨天時:6月3日(火)
6月17日(火) 学校公開日 ●武蔵野小学校
5月9日(金) 学校公開日・PTA総会
5月31日(土)
運動会※雨天時:6月1日(日) ●羽村第一中学校
5月17日(土)
道徳授業地区公開授業・PTA総会 | <ul style="list-style-type: none"> ●羽村第二中学校
4月14日(月)～18日(金)
公開授業週間
5月10日(土) 授業参観・PTA総会
5月19日(月)～23日(金)
職場体験学習(第2学年)
6月23日(月)～27日(金)
公開授業週間 ●羽村第三中学校
5月9日(金) セーフティ教室
5月17日(土)
学校公開日・PTA総会 ○入学式
小学校 4月7日(月)
中学校 4月8日(火) |
|--|--|--|

小中学校のコンピュータ整備が完了しました

平成15年より防衛省の補助事業として進めてきました小中学校への教育用コンピュータの整備事業が、平成19年度の松林・小作台小学校への整備をもって完了いたしました。今回の整備で各校のコンピュータ室に児童生徒用コンピュータが40台設置され、1人1台のコンピュータを使う環境が整うとともに、機能の向上が図られました。今後の児童生徒の情報教育に生かしていきます。

●問合せ 教育総務課

給食申込みについて

今年度より、小中学校の学校給食について、申込制度がスタートしております。

この制度は、保護者のみなさまに学校給食を正しく理解していただき、学校給食費の未納を

なくすために実施するもので、教育委員会としては、全児童生徒の申込みをお願いするものです。

保護者の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

●問合せ 教育総務課

学校給食の冷凍加工食材の使用について

中国で加工された冷凍食品が問題となっておりますが、市内小中学校の学校給食につきましては、国内産原材料で国内加工された食品を選定しております。

今後も、児童生徒の安全安心を第一に考え、食材の安全性の確保に万全の注意を払うとともに、学校給食における衛生管理の一層の徹底を図ってまいります。

●問合せ

羽村・瑞穂地区学校給食組合

TEL 042-554-2084

INFORMATION

生涯学習センターゆとろぎ	Tel.570-0707	羽村東小学校	Tel.554-5663	小作台小学校	Tel.554-1431
図書館	Tel.554-2280	羽村西小学校	Tel.554-2034	武蔵野小学校	Tel.555-6904
郷土博物館	Tel.558-2561	富士見小学校	Tel.554-6449	羽村第一中学校	Tel.554-2012
スポーツセンター	Tel.555-0033	栄小学校	Tel.554-2024	羽村第二中学校	Tel.554-2041
スイミングセンター	Tel.579-3210	松林小学校	Tel.554-7800	羽村第三中学校	Tel.555-5131
弓道場	Tel.555-9255				

教育随想

春の日の門出に想い

期待と不安の入り混じった「入学式」。緊張感で空気が張りつめています。どんな先生や先輩たちがいるのかな? どんな新入生たちが来るんだろう?

新入生は、目をきらきらさせながら、期待と不安でいっぱいの子です。新6年生は新入生の手をつなぎ、入場してきます。とてもりりしく胸を張り、歩き方まで気を配り、優しくエスコートしているその姿は、もう素敵なお兄さんとお姉さん。そして、つい昨日まで1年生だったお友だちも、合唱や合奏、呼びかけをし、その目には自信と輝きを持っていました。

そんな様子を拝見していると、在学生在が急に大人びて見え、思わず目の前が涙でかすんでしまいます。

りりしく、しかし優しく新入生を迎える在校生たち。そして、新生活に希望と不安を併せ持つ新入生たち。皆がこの一年間幸せであるようにと願った一日なのでした。

教育委員 野崎喜久美

